

●新中学校建設について

その他の質問

- ・市制施行70周年記念について
- ・教育会館の改修について



竹内和順 議員



**議** 国交省からの「都市構造再編集中支援事業補助金」の総事業費33億600万円のうち、地下横断歩道にはいくらの補助の内示があったのか。

基本計画に明記されていない給食室の設置が令和5年8月28日付けの担当課長決裁の指示書で庁内において示されているが、議会においては、市長の令和5年9月12日議会招集あいさつの「給食室の設置を検討します」との発言で初めて知るが、いったい、市長の指示はいつどのようであったのか。

**理** 国に申請している都市構造再編集中支援事業補助金は、令和5年度からの5か年で元禄線歩道や新中学校の整備、教育会館の改修、中央公園の再整備を進める為のものである。このうち、令和6年度分の新中学校整備の為の補助金は、地下横断歩道及び新中学校の校舎整備費用をまとめて3億8,000万円で国から内示をいただいている。地下横断歩道には、今年度実施予定の事業費の2分の1の額となる、約1億2,500万円を充当し整備していく。

「自校式給食室の設置検討について」の業務打合せ簿における指示事項は、令和5年8月28日に勝山市立中学校基本・実施設計業務委託の受注者に送付したもの。これまで市議会をはじめ保護者より、長年にわたり自校式給食室の設置要望を受けてきた事から、敷地内に給食室の設置が可能かどうか庁内での検討資料が必要と判断し、市長からの指示により担当職員が設置費等の試算を行ったのちに、営繕課長名で送付した。

なお令和5年9月定例会における市長招集あいさつ時には、受注者から提出された資料をもとに実現可能性について庁内での検討を行ったのみで、その時点では勝山市立中学校再編準備委員会においては未検討であった事から「検討してまいります」との表現となった。

- 令和9年度の新中学校開校に向けたPTA事務局の設立、事務員の確保について
- 秋から始まるコロナワクチンの定期接種について

その他の質問

- ・マイナ保険証の利便性について



浦上雄次 議員



**議** PTAは単位PTA、市PTA連合会、県PTA連合会とあるが、事務局校は3つのPTAに関する業務を1年務めなければならない。教員の働き方改革が求められる中で、令和9年度開校予定の新中学校にPTA事務局の設立、事務員の確保は可能か。

**理** 勝山市PTA連合会事務局は、市内小中学校12校で1年交代の輪番制となっており、学校規模にもよるがPTA業務は事務局校の校長や教頭、事務職員が担当している。議員から「3名から4名の教職員が事務局に在籍し、PTA関係業務をしながら学校行事や授業のサポートを行ってはどうか」とのご提案をいただいたが、教職員の配置人数は法律で定数が決まっており加配は困難である。また市が雇用する会計年度任用職員においても担当業務がある為、PTA事務局業務の兼任は難しい。

教職員の業務負担軽減を進める事は必要なので、まずは校長会と市PTA連合会との連携の中で、PTA事務局の業務精選や簡素化等を進める事が重要と考える。市教育委員会としても支援できる事があれば検討する。

**議** 秋から始まるコロナワクチンの定期接種に向けて、ワクチンに関する様々な情報を市のホームページにアップできないか。接種にはリスクを伴う事を含めて、メリット・デメリットを市民に周知させていきたい。

**理** 新型コロナワクチンの注意喚起については、予防接種や健康被害に関する情報等を市ホームページや広報等で情報提供していく。

また市民が健康に関する知識を得る機会として健康講座の開催等も行っているので、健康づくりや病気の予防とともに、予防接種や感染症予防についての情報提供を行い、市民の方が健康に目を向けるきっかけとなるよう、普及啓発に努めてまいりたい。